

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009年12月31日現在

概況 ワシントン州東部の12月31日に終る1ヶ月の気象は、平年より低目の気温で推移し、降水量は平年より少ない気象であった。1ヶ月の降水量はRitzvilleにて1.15インチ、Walla Wall観測所にて1.28インチ、Whitman Mission観測所にて1.31インチ、Pullman観測所では0.74インチと平年より2インチ程少なかった。各郡の気象及び冬小麦の概況はLincoln郡では12月に入り極めて気温が下がり、圃場は凍結した状態となった。月末になり降雪があり冬小麦はSnow Coverにて保護された。冬小麦の状況は良好であった。但し、月末に降雨を受けた傾斜した圃場では、Subsoil近くの凍結した土壌を残しその上の表土が流失した。Walla Wallaでは冬独特の気象で、降雨、降雪、霧の日々であった。冬小麦の生育状況は良好であり、休眠に入っていた。Whitman郡の降雨量は平年を大きく下回ったが、小麦の状況は良好であった。Snow Coverは極めて浅い。

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
December	NA	NA	NA	NA	NA
End Nov.	0	3	25	60	12

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

以上